



協力しながらの発表資料作り

公開オンライン講座で発表

6月13日は、カナダミュージアムにて行われた公開オンライン講座「移民でつながるVOL.5」に、語り部ジュニアも参加し発表しました。

今回は、日系カナダ人野球チーム「バンクーバー朝日軍」（以下朝日）をテーマに行われました。

この講座にジュニアは4名が参加。そして国内

授業風景



朝日のTシャツを着た柳本リーダー

外合わせて、約60名の視聴がありました。

ジュニアの発表としては、まず語り部部会リーダーの柳本より、語り部ジュニアの活動が開始された経緯を説明。続いてジュニアたちが、自己紹介。そして、普段の授業風景やフィールドワーク、ゲストティーチャーによる授業、京都外国語大学をはじめ訪れた大学生や一期生が行ったカケハシプロジェクトでの日系米国人学生への案内など、語り部ジュニアの活動紹介をしました。

最後には、朝日について学んで感じたことをそれぞれが述べました。



発行
 NPO法人
 日ノ岬・アメリカ村
 語り部部会
 Let's KATARIBE
 〒644-0045
 美浜町三尾778
 旧三尾小学校内
 TEL: 0738-20-9015
 URL: americamura.wakayama.jp



朝日への感想を述べるジュニア

「最初、カナダ人が日系人に対する差別をしていたのが、だんだん野球で尊重し合えるようになってきたのに、戦争でそれが崩れてしまったのが悔しかった。」

「三尾と朝日とは全く関係がないと思っていたので、こんなに深い関わりがあったことにとっても驚いた。そして朝日の絶対優勝してやるという強い気持ちはすごいと思った。」

「差別や嫌なことをされてもそれに負けずに自分達らしく、誇りを持って頑張り続けた



活動内容を発表するジュニア

朝日の方々は本当にすごいと思った。」

「朝日の映画を観て、日系人は差別をされたり、野球では何回も負けていても諦めないで頑張っている姿をみて、私だったら絶対に日本に帰ってきていると思った。私は日系人は諦めないというところがすごいなと思った。」

この間の授業は、この日に向けての準備に費やしてきました。パソコンのソフトに慣れていないメンバーには、年上のジュニアが教えたり、クラブ活動で参加できないときは、お互いが協力しあいながら準備してきました。

ジュニアたちは、今回の発表を通じて、さらにひと回り成長しました。

報告 三尾


NEWS トーテムポール除幕式行われる!

5月11日は、カナダミュージアムの前庭に設置されたトーテムポールの除幕式でした。

このトーテムポールは、カナダ先住民(スクアミッシュ族)のアーティスト、ダレン・イェルトン氏の手による日本では数少ない本物のトーテムポールで、樹齢300年以上のレッドシダーに案内人やハクトウワシ、サケなど、先住民文化を象徴するモチーフが彫られています。近くで見ると、その力強さや存在感に圧倒されます。

トーテムポールは、NPO法人国際協力推進協議会(工野儀兵衛のひ孫にあたる高井利夫氏が理事長)から美浜町に贈られました。

カナダと日本の友好の証として、傍に並んで建てられた工野儀兵衛翁の胸像とともに新たな三尾のシンボルになることでしょう。



除幕式では、高井氏や簀内美浜町長、三尾館長らが幕を引いた

講師自己紹介

初めまして、上山巳歩里です。
語り部ジュニアでは、英語の授業を担当しています。
美浜町育ちで、母校の松洋中学校で英語教師をしていた頃から、縁あってこの語り部ジュニアの活動に携わらせていただいています。



幼い頃から海外への憧れや語学学習への意欲が強く、美浜町がカナダ、バンクーバーと友好関係にあることも誇らしく思っていました。ホストファミリーとしてカナダからの学生を受け入れたこと、実際にカナダ交流プログラムに参加し、自分の目で移民の歴史を辿ったことが、今の「私」につながっていると実感しています。

この活動を通して、130年以上も前に、ここ美浜町三尾から異国の地バンクーバーに渡った工野儀兵衛の「未知なる未来に立ち向かう勇気」や「行動力」に思いを馳せながら、多くを学んでいます。どうぞよろしく願いいたします。

NEWS

あり、トータムポール寄贈主の法人理事長）がゲストとして参加。国立民族学

6月13日（日）、第5回目がありました。同志社大学の和泉真澄先生が朝日軍について説明。その後、嶋洋文氏（叔父が初代朝日軍選手）が、「バンクー

バー朝日：殿堂入りメダリスト家族の探求」と題して講演。嶋氏は、03年にカナダ野球殿堂入り後にも、記念メダルの多くが関係者に手渡っていないことを知り、関係者探しに奔走した活動を紹介。三尾たかえ館長からは、カナダミュージアムと元朝日軍の野田為雄選手との関係についてのお話。続いて、語り部ジュニアからは、活動紹介がありました。（表面記事参照）

公開オンライン講座

「移民でつながるVOL.4」

5月8日（土）、第4回目の講座が特別篇としてありました。

トータムポールが、カナダミュージアム前の庭に設置されることを記念して行われた今講座には、高井利夫氏（工野儀兵衛のひ孫で

公開オンライン講座

「移民でつながるVOL.5」

6月13日（日）、第5回目がありました。

は、カナダミュージアムと元朝日軍の野田為雄選手との関係についてのお話。続いて、語り部ジュニアからは、活動紹介がありました。（表面記事参照）

博物館の中牧弘允名誉教授と岸上伸啓教授より「カナダ太平洋沿岸地域における先住民のトータムポール」のお話がありました。

は、カナダミュージアムと元朝日軍の野田為雄選手との関係についてのお話。続いて、語り部ジュニアからは、活動紹介がありました。（表面記事参照）

三尾の自慢・見どころ紹介

防空監視哨跡

公民館の裏山を登ると、防空監視哨跡があります。この遺跡は、戦時中、空襲に備えて敵機を監視するために造られたものです。

美浜町史によると、1938年（昭和13年）頃に設置され、三尾の青年団が当初交代で監視。その後、和田や内原などの隣村からも加わり、戦争が進むにつれ、近畿圏の防空を担った陸軍の大阪通信隊（正式名称は航空通信隊）や航空情報隊も配置され、兵士は空家に駐屯したそうです。

当時を知る方のお話によると、空襲警報が入



石垣が残る監視哨跡

れば手回しのサイレンで知らせていたようです。

長く眠っていたこの監視哨跡は、戦争遺跡を研究している奈良大学の院生による調査がきっかけとなり、関係者のご協力と地元の方の力によって、再び陽を浴びることになりました。

憩いの場として活用されることで、先人たちも喜んでくれるのではないのでしょうか。

*お詫びと訂正

第5号の大賀蓮の紹介記事で、大賀博士によって、蓮の実が発掘された昭和26年は「1951年」でした。訂正し、お詫びを申し上げます。

防空監視哨跡からの素晴らしい眺望

